

きこえの相談について

お子さんの耳は聞こえていますか？



難聴は言葉の発達に大きな影響をあたえます。

言葉は耳で聞いて覚えます。耳が聞こえにくいと、言葉の発達が遅れます。

また、難聴による問題は言葉だけでなく、人とコミュニケーションする能力や社会性にも影響します。

言葉の発達も含めこれらの問題は、早い時期に難聴を発見し、補聴器をつけて適切な訓練を行うことで予防し改善することができます。

言葉の遅れは難聴が原因となるだけでなく、発達全体の遅れによる場合もあります。

聞こえの程度にもいろいろあります。

難聴があっても大きめの音には気付いたり、呼びかけると振り向いたりすることがあります。

- **高度難聴** 大声で呼ばれても気付かない。
- **中等度の難聴** 普通の話し声は聞き取れないが、少し大きめの声で名前を呼ばれると気付く。
- **軽度難聴** 小さな話し声は聞き取りにくいですが、普通の声で名前を呼ばれると気付く。
- **その他** 低い音は聞こえるが高い音だけ聞こえないというように特定の高さの音だけが聞きにくい難聴もあります。

軽度難聴では、ことばを話すようになって、言葉や発音の獲得に影響があります。

また、滲出性中耳炎が原因で一時的に難聴となり中耳炎を治療すれば難聴も改善する場合があります。

聞こえが悪いと思ったときには**聴力検査**を受けることをお勧めします。

聞こえの検査は0歳から、年齢に応じた検査ができます。

聞こえと言葉の発達 観察のポイント

6 月

- ☆ 突然の大きな音や声にびっくりして、しがみついたり泣きだしたりする。
- ☆ 声をかけると、意図的にさっと振り向く。
- ☆ 隣の部屋の物音や、外の動物の鳴き声などに振り向く。
- ☆ お母さんの声と他の人の声を聞き分ける。

1 歳過ぎ

- ☆ ちょっとした物音や変わった音がすると、はっと向く。
- ☆ 気付かれないようにそっと近づいて、小さなささやき声で名前を呼ぶと振り向く。

1 歳6 月

- ☆ 「～どこ？」（時計・テレビ・人形など）と聞くとそちらを見る。
- ☆ ことばだけ（指さしをせずに）で「～持ってきて」（新聞・ぬいぐるみ・ティッシュなど）の指示に応じて物を取ってくる。

ご心配な点がありましたら、気軽にお電話でご相談下さい。



